

「北の小さな巨人」 独自製品で購入者増をけん引

筆者プロフィール



千葉明（ちば・あき
ら）氏

昭和24年（1949年）6月18日、群馬県前橋市生まれ。群馬県立前橋高等学校

北の達人コーポレーション（2930、札幌）経営力大賞2014「で大賞（経済産業大臣賞）を獲得、言いは語弊があるかもしれないが「お国のお墨

校、明治大学政経学部卒業。1973年4月、日本短波放送（現日経ラジオ社）入社。1976年5月、経済評論家・亀岡大郎氏に師事。1982年6月、独立（有）オフィスエーシー設立。そして自営のいまも、新聞・雑誌の原稿作成、書籍上梓、講演活動に従事。

年5月に上場。売りの「独自製品」は具体的に以下のような具合である。

1. 健康食品・オリゴ糖製品。代表選手は「カイトキオリゴ」。
2. 健康食品・紅珠漢。植物ライチから抽出したポリフェノール（単位当たりビタミンCが持つ効能の20倍、ビタミンEの50倍が認められる）を生かして

いる。

3. スキンケア化粧品。北海道産の甜菜糖成分を生かした、「みんなの肌潤糖」シリーズ。

4. 甜茶。木の葉から作られる茶で花粉症などアレルギー体質改善が期待される。

同社では「甜茶に次ぐ1-2商品の早期投入」、そして昨年6月に設立した化粧品子会社による新商品投入計画を公にしている。

アナリストは、「絞込み込んだ特異独自製品へのこだわりが、購入者増をけん引してい

る」とする。収益動向はまさに「小さな巨人」そのもの。

2012年12月期の「71%の増収、98%の営業増益、77%の最終増益（過去最高益更新）」に続き13年12月期も、「21・5%の増収、20%の営業増益、31%の最終増益（同）」計画。開示されている

3-11月期の計画への進捗率は、「78%、73%、74%」と計画達成は「◎」状態。

さて、この「北の小さな巨人」株だが、13年に2回の株式分割（2月6日発効日の1

対4分割&12月26日発効日の1対2分割）を行っている。

株主還元策と同時に、会社側は「コメントは控える」とするが、

上場市場移行への対応策と捉えることもできる。ちなみに昨年年値は、1月4日の325円。この時点で単元株

を取得していると、投下資金3万2500円は分割後の順調な値動き・分割効果（持ち株数増加）+配当金で約14倍に増えている勘定

になる。

2回目の分割後の株価動向は、12月26日の

安値656円を起点に大納会は終値750円で通過、1月10日に689円まで低下も2月10日774円まで買い戻され時価は700円

3月下旬予定の前期本決算開示（今期予想）を契機に、居所を変え（4桁台）公算濃厚といえよう。時価買い対応で臨みたい。

対応で臨みたい。

上場EC会社の株価推移

（社名は五十音順、単位は円）

企業名	株価	前週比
エニグモ	4,770	-115
エムアップ	787	67
オイシックス	3,010	-45
北の達人コーポレーション	739	-8
ケンコーコム	1,210	-59
ゴルフダイジェスト・オンライン	230	25
サンワカンパニー	7,750	1,350
スタートトゥデイ	2,711	184
ストリーム	582	-1
タイセイ	487	-8
ネットプライスドットコム	120,900	17,700
ビューティガレージ	1,859	23
フォトクリエイト	1,785	85
ミネルヴァ・ホールディングス	712	-1
夢展望	1,391	30

※企業の株価は14年3月11日の終値、前週比は3月4日の終値

3月下旬の前期本決算開示契機に4桁台の公算濃厚